

令和5年度 京都府立大学公開講座

桜楓講座～春の部～



×



=



京都府立大学では、毎年春と秋に公開講座「桜楓講座」を開講しています！
今年度の春の部は、公共政策学部と生命環境科学研究科から以下のテーマで
オンデマンドの講座を配信します。ぜひご視聴ください！

無料
要申込

01

配信期間 6月 20 日（火）～7月 1 日（土）



『歴史と経済の交差点から

森林の公益的機能を考える』

公共政策学部
教授 桂 明宏

02

配信期間 7月 2 日（日）～7月 13 日（木）



『木材からバニラを作る

— 化学資源としての木材』

生命環境科学研究科
准教授 細谷 隆史

配信方法

京都府立大学 YouTubeチャンネル
※上記の期間において、動画配信を行います。

申込締切

6/19(月)

申込方法

- ①右のURL、又はQRコードからアクセスし、希望する講座など必要項目を記入し送信してください。
- ②お申込みいただいた方に、動画配信日の前日までに、動画視聴ページのURLを送付します。

お申込みいただいた方のみ動画を視聴できます。
申込締切日までにお申込みください。

【申込URL】

<https://forms.gle/JKenF2CLNx9qdB998>

【申込QRコード】



お問い合わせ先
京都府立大学 京都地域未来創造センター
〒606-8522(住所記入不要)
TEL 075-703-5357
※土日祝はご対応できません。
E-mail kirpinfo@kpu.ac.jp
URL <https://kirp.kpu.ac.jp>



令和5年度 桜楓講座

配信期間 6月20日(火)～7月1日(土)

『歴史と経済の交差点から 森林の公益的機能を考える』

公共政策学部 公共政策学科

教授 桂 明宏 (かつら あきひろ)



「治山治水」という言葉に象徴されるように、森林には洪水緩和機能や表土侵食防止機能などの重要な公益的機能があります。それゆえ、森林は「緑のダム」とも呼ばれています。また、森林にはCO₂を吸収し酸素を放出するという生命にとって不可欠の役割を果たしています。このように多様な公益的機能をもつ森林ですが、歴史的には様々な社会経済要因が公益的機能の発揮を妨げてきました。

本講では、太平洋戦争と森林の関係を例に取り、森林の公益的機能の役割を考えます。

配信期間 7月2日(日)～7月13日(木)

『木材からバニラを作る — 化学資源としての木材』

生命環境科学研究科 環境科学専攻

准教授 細谷 隆史 (ほそや たかし)



木材というと、建材や紙の原料として利用するものというイメージを持っている方が多いと思います。ですが、木材を化学変換することで様々な有用な化学物質を作り出すことが可能です。例えば、木材中に20~35%程度含まれるリグニンという成分からは、バニラの香りの成分であるバニリンを生産することが可能です。木材の積極的な利用は、SDGsが叫ばれる昨今社会において大きく期待されています。

本講座では、リグニンからのバニリン生産に関する話を通して、石油や石炭に代わる新たな化学原料という、木材の持つ少し意外な側面をご紹介します。